

みずほCustomer Desk Report 2023/06/22号 (As of 2023/06/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	141.66
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	141.38	1.0920	154.36	1.2765	0.6790
SYD-NY High	142.37	1.0991	155.90	1.2803	0.6804
SYD-NY Low	141.29	1.0906	154.32	1.2691	0.6743
NY 5:00 PM	141.90	1.0987	155.89	1.2768	0.6797
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,951.52	▲ 102.35	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,502.20	▲ 165.09	日本10年債	0.3700%	▲0.0100%
S&P	4,365.69	▲ 23.02	米国2年債	4.7174%	0.0337%
日経平均	33,575.14	186.23	米国5年債	3.9602%	0.0170%
TOPIX	2,295.01	11.16	米国10年債	3.7247%	0.0068%
シカゴ日経先物	33,630.00	460.00	独10年債	2.4305%	0.0270%
ロンドンFT	7,559.18	▲ 10.13	英10年債	4.4015%	0.0700%
DAX	16,023.13	▲ 88.19	豪10年債	3.9790%	▲0.0400%
ハンセン指数	19,218.35	▲ 388.73	USDJPY 1M Vol	8.63%	▲0.28%
上海総合	3,197.90	▲ 42.46	USDJPY 3M Vol	9.35%	0.01%
NY金	1,944.90	▲ 2.80	USDJPY 6M Vol	9.53%	▲0.07%
WTI	72.53	1.34	USDJPY 1M 25RR	▲0.72%	Yen Call Over
CRB指数	270.65	3.23	EURJPY 3M Vol	8.58%	▲0.12%
ドルインデックス	102.07	▲ 0.47	EURJPY 6M Vol	9.08%	▲0.04%

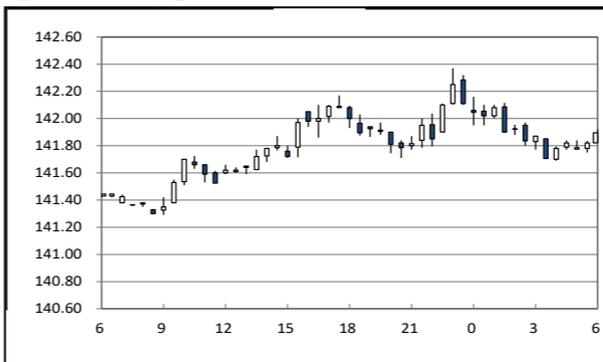
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月21日	15:00	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.7%/8.7%	0.5%/8.4%
	15:00	英 CPIコア(前年比)	5月 7.1%	6.8%
	23:00	米パウエルFRB議長 講演	「インフレ抑制の為、更なる利上げが必要」	

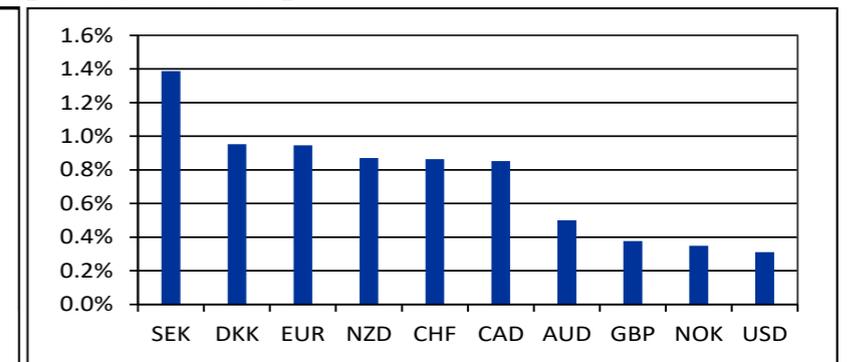
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月22日	20:00	英 イングランド銀行 政策金利	22-Jun 4.75%	4.50%
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月 -0.10	0.07
	21:30	米 新規失業保険申請件数	17-Jun 259k	262k
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 4.25m	4.28m
	23:00	米パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	141.00-142.80	1.0850-1.1100	154.50-157.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は年初来高値を142.37まで更新するもその後反落。東京時間141.38でオープンし、植田日銀総裁の「粘り強く金融緩和を継続していく」との発言を受け、現行の金融政策修正観測が後退し、リスク選好の円売りが先行。日本株が堅調な展開も相まって、142円台前半まで上昇するも、その後失速し、142円を割り込む展開。NY時間では、パウエルFRB議長の議会証言を控え、事前に配布された原稿には「インフレ圧力は依然として高く、インフレ率を2%に戻すにはまだ長い道のりがある」との見方が示され、利上げ期待の買いで反応し、142.37まで値を上げ、年初来高値を更新。しかし、その後行われた議会証言で、パウエルFRB議長の「もっと緩やかなペースで金利を上げるのが理に適っている公算」との発言が嫌気され、売り戻し展開となり141円台後半まで反落し、結局141.90でクローズした。

本日のドル円は底堅い展開を予想する。アジア時間では、中国(26日再開予定)・香港が休場となっており、流動性低下し、実需のフローに振られる展開となろう。海外時間においては、英中銀が予定されており、昨日発表の英CPIが予想を上回る結果となったことを受けて、英追加利上げが確実視となっている。対欧州通貨の米ドルの値動き、また米重要指標の発表、要人発言が多数予定されており、内容に留意したい。

東京	東京時間のドル円は141.38レベルでオープン。序盤から植田日銀総裁の「金融緩和を粘り強く継続する」との発言が伝わり、マクレス圏で寄り付いた日本株はプラス圏へ浮上し上げ幅を拡大。円は幅広く売られ、ドル円は底堅く推移。終盤にかけて142.00にタッチし、141.97レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、141.97レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感に欠ける動きで推移し、結局141.84レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2771レベルでオープン。英5月CPIが発表され、前年同月比、前月比ともに予想を上回る結果となると、英金利が下落で反応し、ポンドも1.2691まで連れ安で推移。その後、小さく反発し、結局1.2728レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は141円台半ばでスタート。東京時間では、植田日銀総裁の「粘り強く金融緩和を継続していく」との発言を受け、現行の金融政策修正観測が後退し、リスク選好の円売りが先行。日本株が堅調な展開も相まって、142円台前半まで上昇するも、その後失速し、141.84レベルでNYオープン。朝方はパウエルFRB議長の議会証言を控え、事前に配布された原稿には「インフレ圧力は依然として高く、インフレ率を2%に戻すにはまだ長い道のりがある」との見方が示され、利上げ期待の買いで反応し、142.37まで値を上げ、年初来高値を更新。しかし、その後行われた議会証言で、パウエルFRB議長の「もっと緩やかなペースで金利を上げるのが理に適っている公算」との発言が嫌気され、売り戻し展開となり141円台後半まで反落する。午後は特段材料が見当たらない中、141.80付近での上値重い推移が続き、141.90レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。1.0920台付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き1.0925レベルでNYオープン。午前中は先述のパウエルFRB議長の議会証言の内容とナゲル独連銀総裁がユーロ圏のインフレ抑制に対し「早々に利上げを切り上げるのは初歩的な誤りだ」と効派の見方を示し、ユーロが買われ、1.09台半ばまで急伸。午後は米金利が低水準で推移する展開がサポートとなり、終盤には1.0991まで上昇し、その後1.0987レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小林・松木